

新たな生活の第一歩



入学式、新入生歓迎会（ソフトラピア、リトルワールド）、特別講座。多くの行事が行われました。七月二十四、二十五日にマルチメディアフェア、八月一日から三日までPCdayが開催されます。

南向きの大きな窓

世の中くぶしにけかち桜

学校長 榎原 英勝

又しても身内の話で恐縮だが、山の中で細々と畑を耕す年輩の両親を残しての出稼ぎの身なれば、時々安否を確認に訪ねる機会があって、これはこの春、四月も終盤を迎える頃のこと。そろそろ八十歳になる父親が、「世の中くぶしにけかち桜」と昔からの言い伝えだと語る。

くぶしとか、けかちなど初めて耳にする単語にとっさの理解に苦しんだ。やがて「くぶし」とは辛夷（こぶし）の方言であろうことは理解した。た、「けかち」の音からは、欠乏といったイメージが自然に浮かんで来たのだが、どうも合点がいかず辞書を繰って見たところ、「飢渴（きかち）」であることが分かった。

父親の説明によると、辛夷の花が咲き誇る年は天候に恵まれ作物の実りも豊かで、世の中の景気が良い年である。また、反対に桜の花が早くから開くような年は、飢渴、つまり飢えが心配される不作の年になるのだと言う。

そういえば今年も辛夷の花を見かけることが少なかったように思うし、また反対に桜はこの地方のみならず全国的に開花も早く、見事な花の話題が各地から寄せられていた。こんな年は天候が不順で、農作物の出来が心配される年だと言うのだ。

四、五年前だったと思うが、冷夏に泣いた年があった。あの年の春はどんなだったのだろうか、そんなことを思い出しながらこの話を聞いた。ところで、その後この諺についてついぞ確認することもないままなので、果たして一般的に伝えられている話なのか、または彼の、辺鄙で陸の孤島とでも云うような山里の農家にだけ通用する話なのか定かではないが、少なくとも父親達が聞き伝えて来た話の背景には、何百年もの山里の歴史の中にそういう年が幾度となくあって、自然や飢えと闘って来た現実があったのであろうと想像に難くない。

翻って、世の中は不況。バブル崩壊から、気が転がり落ちる我が国経済。途中何度も回復の兆しとか、底を打って上向きになると実しやかに伝えられるが、政府や関係筋のそういう発表は全く当てにならないことは、昨年我が国は、戦後初めてのマイナス経済成長であったという現実に見られている。

更に最近の報道では、今年はおろか来年まで三年間連続してマイナス成長が予想されるという。

完全失業率の増加、超々水河期と云われる就職難、リストラ、倒産は云うに及ばず、金融システムの不安やテラレションも心配される深刻な事態。世の中辛夷、と春に邁ってそれを望むべくもないが、せめて一刻も早い経済回復の兆しが待たれる。



本校に入学して

大原久美子

私はいろいろな事にすぐ興味を持つ、多趣味な性格をしています。コンピュータもその興味のひとつであって、他にやってみたくは他にもあったはずなのに、この学校に来たのはなぜ？と考えてみた。考えてみるとそれは、機械・コンピュータの仕事をしている父と同じ立場で話ができれば、というのが原因。つまり、頭が上がりない状態から少し抜け出したいようです。

選んだ道

佐々木 徹

私がここに入学して三ヶ月が過ぎました。もともと就職しようと思わず、職についてもたいした技術をもっていないため、少しでも技術を身につけたいと思って、この学校に入ったのです。

三ヶ月過ぎ、本音を言うとかなりめんどくさい授業や、つまらない授業がないとはいえませんが、しかし私の目標は、技術を身につけることです。めんどくさいとか、つまらないとか考えないで、授業を受けたいと思います。つまらないとか、めんどくさなどと思うのは、その授業が分からないことも一つの理由でしょう。分からないことは、どんなに小さな事でも何でも聞いて、完全に理解することも必要だと思います。

もう少し学生でいたく、就職したくなかったから入学しましたが、それでも自分が選んだ道です。つらくても苦しくても、最後までやりとげれば私の目指していた事が見つかる気がします。少しでも多くの技術を身につけ、分からない事は何でも聞き、楽しい学生生活を送りたいと思います。

一年生へ

二年 井上 誠

二年になった今、私達は就職活動に力を入れています。一年生の皆さん、良い企業に就職したかったら今のうちから、しっかりと勉強して下さい。私は今頃になってそのことを痛感しています。

一年生の皆さん、せっかくコンピュータの専門学校へ来ているのだから、コンピュータの知識をたくさん身につけてほしいと思います。勉強をして損はないと思いますが、これから暑くなりますが、グラッとししないで勉学に励んでほしいと思います。



新任講師紹介

「啐啄同時」の想いで

高橋 進



今年度より縁あって、「ウインドウズアプリケーションの実習」を担当、次代を担う諸君と接触しています。

比喻になりますが、△卵から雛が誕生する時は▽雛鳥が殻の中から卵を割ろうとしてつづく「啐」が行われ、親鳥がそこをつつき割る「啄」が行われます。その場所と時が合致、つまり、「啐啄（そったく）同時」が大切であります。親鳥がついても殻中から雛が何も突付かねば殻は割れません、又雛がついても親鳥が無関心であれば卵が割れませんし、双方むやみにつつきすぎれば卵は割れてしまいます。二の三葉のパターンがあり、雛と親は一回のタイミングで殻を割らなければ雛鳥の誕生は無いと言う訳です。そんな生徒と教師の関係でお互いを思いやる「啐啄同時」の授業ができ

ればと思う今日です。元気ある専門学校になるには継続的にいかに多くの検定合格者（J検、情報処理技術、アドミスレータ、簿記検定等）が排出され、活力ある卒業生であることが第一です。それには教師、学生の「啐啄同時」の精神構築が重要だと思えます。高齢化、国際化、情報化のすむ社会で飯田コンピュータ学校が地域の情報化センターとしての役割を果たすお手伝いができれば幸いと思っています。



新入生歓迎会

今年は例年と異なり、スポーツ大会ではなく岐阜県にあるソフトピアジャパンの見学を行った。帰りにはリトルワールドで昼食と休憩をとり十八時ころ学校に戻った。



ソフトピア見学

熊谷 顕二

課外活動・特別活動とゆう事で岐阜のソフトピアジャパンに見学に行きました。

私はマルチメディアコースをとっていますが、自分の好きなCGやアニメーションにしか興味がなく、特に地域産業について深く考えた事ありませんで

ソフトピアを見学して

山田 裕貴

五月一日に岐阜県大垣市にある「財団法人ソフトピアジャパン」を見学した。

その設備はコンピュータをはじめととも充実しており、日本の情報産業の発展に大きく貢献するものと思われる。

岐阜県では「高度情報基地ぎふ（情場）」を目指しており、ソフトピアジャパンはその中核拠点となる施設だ。実にはたのしい。そして長野県にもこれに匹敵する施設があればいいと思う。

ソフトピアジャパンには日本だけでなく世界の情場の中心になってほしいと思う。

リトルワールド

放キャン

新入生歓迎で、岐阜県のリトルワールドへ行きました。初めて行く場所なので、何があるのか分からなかったのですが、前々からとても楽しみにしていました。

特別講座

一台のバスに、一年生と二年生、先生方が乗り込んで出発。私はバスの中の時間が、実は一番好きなので、友達と大騒ぎしていました。歌ったり、変な看板を見ついたり、楽しかったです。

リトルワールドへは、ちょうど昼頃に着きました。お腹がペコペコだった私は、入館してすぐ、インド料理のある場所を見つけてきました。そこではなんと、「ナンカレー」を食べました。

インド人もびっくりに本場の味を楽しみました。辛くて口の中がビリビリしました。あまりおいしさに、また行く約束をしてしまったくらいです。

リトルワールドは、民族衣装も着られるそうなので、今度行った時には、全て着てみようと思います。



六月二十六日の特別講座は講師に飯田市龍江の番入寺インダストリアルパーク内に建設中のテクノシステムズという会社の社長である林 正幸氏にお願いしました。同氏はPHPなどの本でも有名です。

システムエンジニアリング

宮澤 祐司

六月二十四日に講師にテクノシステムズ社長、林 正幸先生を迎えシステムエンジニアリングをテーマに講座がありました。家電修理から会社経営までこなす、すごい人です。

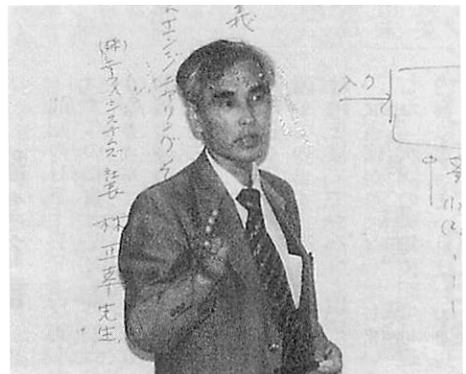
講座では、林先生の体験談より、興味を持つ事、常識を持つ事、そして、発想力です。発想力とは、分解能の事で、一つのできごとから、どれだけ細かい項目に分けることができるかという事で、客の一言から、より多くの項目を分解して、客のイメージに合った物を選び出す能力が大事ということです。とても、為になる講座でした。

特別講座から学んだ事

Y・T

去る六月二十四日、講師に林正幸氏をお招きして特別講座が行われました。テーマがシステムエンジニアリングということだったので話なのかと思いましたが、とても興味深いものでした。その中でも「役に立つ人間像」とは技術や仕事の能力はもとより、「日常の礼儀作法、人間としての常識」が重要であるという話が胸にきました。やはり何事もまず基本がないという点は、どんな場合でも同じであるという事を学んだ気がします。

こういった話を聞く機会はありません多くはないので、よい経験になったと思います。



**「マルチメディアフェアIIDA」
開催間近!!**

飯田商工会議所が主催し、当校や飯伊地域メディア振興協会等が共催する「マルチメディアフェア」が来る7月24日(金)・25日(土)の2日間に亘って、飯伊地域地場産業振興センター(産業センターIIDA)を会場に繰り広

げられる。

これは、マルチメディアという新しい情報技術、ツールを活用して、地域産業の振興や福祉・教育の充実をどのように展開して行ったらよいか、21世紀に向けた地域づくりを考える催しである。

企画コマ展示としてNTTグループ、長野松下システム、三菱電機、セコム

上信越、信濃毎日新聞社、中部電力、新葉社の各社による最新の機器やシステムなどが紹介される。

また、学校パソコン教室交流コーナーやマルチメディア教室&体験コーナーも設置され、子供からお年寄りまで多くの参加が期待されている。

なお24日(金)のシンポジウムの概要は次のとおり。

Part 1 10:00~10:40

基調講演「21世紀の情報社会へ地域からの取り組みーコミュニティ・エリア・ネットワークの推進ー」

講師：公文俊平氏(国際大学グローバルコミュニケーションセンター所長)

Part 2 10:45~12:15

パネルディスカッション「地域振興へ本当にマルチメディアは必要か？」

コーディネーター：萩本 範文氏(飯伊地域メディア振興協会副理事長、多摩川精機㈱代表取締役社長)

パネラー：北條 彰一氏(上田市マルチメディア情報センター所長)

玉井袈裟男氏(ヒューマンネットワーク「風土舎」主宰、信州大学名誉教授)

近藤 和夫氏(南信濃村長)

佐々木 賢氏(JA農協中央会総合情報システム次長)

井沢 伸芳氏(NTTマルチメディアシステム総合研究所信越オフィス所長)

Part 3 13:00~13:25

三遠南信テレビ会議(浜松・豊橋・飯田の経済人の交流)

Part 4 13:30~16:00

マルチメディア先端事業のプレゼンテーション

- ・高度無線ライフライン情報監視システム
- ・南信濃村在宅医療支援システム導入事例について
- ・メディアランド“UEDA”「若きクリエイター誕生」
- ・長野市の情報化施策について(長野市フルネットセンターの取り組み)
- ・長野オリンピックでのマルチメディアの活用
- ・有線放送回線を使用したインターネット

宮澤 佑司 福田 史織 大原久美子 中島美貴子 高坂 太	3級	ビジネス検定(B検)	各種検定 合格者	3級	簿記検定	原 恵利子	
	3級	ワープロ検定		4級	3級		
	橋爪亜由未	増沢 健二		田中久美子	4級		CG検定
	橋爪亜由未	本島 勇樹		熊谷 顕二	飯島 夏樹		菜花 泉

PCDayプロジェクトが進行中

当校もメンバーとして組織されている「飯伊地域メディア振興協会」では、昨年から“NetDay”事業に取り組んできているが、その一環として本年度新たに“PCDay”プロジェクトを企画しその活動が進行中である。

具体的にはメディア協会の教育部会が中心となって進めているものだが、飯田・下伊那地方の学校をインターネットで結ぶボランティア活動で、このPCDayプロジェクトでは、教育用コンテンツを制作する教員を支援し、学校に配備されつつあるパソコンを有効に活用して貰おうという事業である。

小、中、高、専門学校等の先生に教育用コンテンツのアイデアを企画書として提出して貰い、ボランティアの支援によって、インターネットの活用技術などを学びながら各自が企画したコンテンツの制作を進めていくもので、来年2月には完成作品の発表会などが計画されている。

PCDay&サマーカレッジinIIDA(関連事業計画)

期 日	カリキュラム概要
8月1日(土)	パソコン組立実習、OSセットアップ
2日(日)	インターネット接続セットアップ実習 TCP/IPの概念、YAMAHA HART80iセットアップ
3日(月)	「インターネットハイスクール“風”」ホームスクーリング事業について 講師 日野 公三氏(株式会社ケイネット) 「スマートスクール構想の日本国内での実践と状況」 S.V.J伊東正明氏、ケイネット日野公三氏、EC研究会土屋憲太郎氏他

スケジュール

7/24、25	マルチメディアフェアIIDA	10/10	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19
7/27~	夏休み	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19	
8/1~3	PCday	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19	
8/4~6	体験入学	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19	
9/15	敬老の日	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19	
9/23	秋分の日	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19	
9/28~10/2	前期定期試験	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19	
10/5	後期授業開始	10/18	10/31	11/3	11/15	11/23	11/28	11/29	12/19	

編集後記

前回のUP-LEで反省したはずなのにまたしても遅いとかかりとなってしまいました。原稿の締め切りがものすごく早くなってしまい、多くの方に迷惑をかけてしまいました。本当に原稿を書いて下さった方に感謝しています。次回はきちんと計画を立ててやろうと思います。反省ばかりになってしまいました。次回の編集後記では違う内容になっていれたいと思います。